

静岡市立由比北小学校



出前授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和7年6月10日(火)

静岡市立由比北小学校の児童が、昔の人々の暮らしを体験することを目的に、土器の分類体験 火起こし体験 を行いました。

土器の分類体験

縄文土器、弥生土器、須恵器の3種類の土器片を完形土器と見比べて分類する体験をしました。

<児童の感想>

・土器の見分け方について、初めて学ぶことができました。本物の土器はテレビでしか見たことがなかったけど、実際に触ってみると、種類によって厚さや色などがぜんぜん違うことに気づきました。

・土器の分類はすごく難しいのに、大森さんたちは日頃からこうやって土器の分類を行っていてすごいと思いました。こういう作業から昔の人たちの生活が知れるんだと気づきました。



火起こし体験

舞錐(まいぎり)法という方法で、火起こし体験をしました。

<児童の感想>

・昔の人は毎回自分で火を起こしていたんだと知りました。そう考えると本当にすごい！

・普段私達はボタンひとつ押すと火が付くけど、昔の人は火を起こすことにもかなりの時間がかかっていたんだと知りました。



<先生方の感想>

本物の土器を触り、感触を確かめながら分類をすることで、それぞれの土器の特徴からその時代の人類の知恵を感じている様子でした。また、火起こし体験では、日頃当たり前のようにコンロで火を起こしている生活からは考えられないほど、火を起こすのにこんなにも手間と労力がかかることに驚いていました。こうやって実際に、見る・触る・やってみることで、歴史学習への学びの深まりは大きく変わってくると、子どもの姿から感じました。貴重な経験を、ありがとうございました。